

普及活動情勢報告（令和2年10月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

ミョウガ増収技術の検討 ～優良種根茎の確保～



調査の様子

10月1日、担い手育成センター圃場で、JA土佐くろしお営農指導員とミョウガ掘り取り調査を行いました。

掘り取り調査では、須崎在来品種と試験場育成品種の種根茎を採種し地下部の状況を確認しました。今後は各々の種根茎を本圃に定植し、生育調査を行う予定です。

また、優良種根茎の確保に向けた採種方法や、県内在来種の状況等について意見交換を行い、担い手育成センターでの次作の試験方法について検討しました。

当課は、今後も関係機関と協力してミョウガの安定生産と増収のための支援を行っていきます。

梶原のぶどう、生育しています！ ～ワイン作り連携協定に係る打合せ会の開催～



ぶどう生育確認の様子

当課は、梶原町で取り組んでいるぶどう（ワイン）作りを支援しており、10月2日に、梶原町が連携協定を結ぶ井上ワイナリー・井上石灰工業の担当者と打合せ会を開催しました。

まず現地ほ場の視察を行い、今後の栽培管理等について熱心な意見交換ができました。その後、会議室で、梶原ぶどう（ワイン）事業における令和2年度（10～3月）の活動計画を、当課や梶原町担当者から提案し、連携協定にもとづき、今後も協力していくことが確認できました。

当課としては、今後もコーディネート機能を発揮し、梶原町の取り組みをサポートしていきます。

稲刈り体験 ～「おおのみエコロジーファーマーズ」と高知県立大学の交流活動～



学生が手刈り体験

10月4日、中土佐町大野見地区において、消費者に選ばれる米産地を目指す「おおのみエコロジーファーマーズ」と高知県立大生との交流として稲刈り体験が行われ、学生20名の参加がありました。

この交流活動は、「おおのみエコロジーファーマーズ」の活動として、認知度を上げる意味合いもあり毎年行っています。参加した学生からは、「去年参加できなかったのが、大変楽しみでした」「この交流に、多くの方が関わってくださった事に感謝しています」等の感想が聞かれました。

当課は、開催打合せでの助言や当日の活動支援などを行いました。今後も「おおのみエコロジーファーマーズ」の活動が広く認知され、米の販路拡大ができるよう、交流活動の支援を行っていきます。

優良品種について検討しています！ ～キュウリ品種比較試験の実施～



品種比較調査の様子

令和3園芸年度となり、9月末から促成キュウリの定植と栽培が本格的に始まりました。今年度は、耐病性や秀品率の高いものなど、3つの新品種の比較試験を行っており、10月7日に調査を開始しました。

どの品種も順調に生育していますが、新品種は開花時期が若干早く、生産者は初期収量の向上に期待しているようでした。

当課はJA担当者と協力し、新品種の収量性、耐病性などの調査を行っています。今後も調査を行いながら、産地に適した品種であるかを検討していきます。

えだまめ狩り、最高です！！ ～おちめん営農組合主催で開催（地域住民との交流）～



なかなか引き抜けない・・・

10月10日、おちめん営農組合主催で、地域住民との交流イベント「えだまめ狩り」が試行的に開催され、4組5名の方が参加しました。

当日は、当課もお手伝いし、参加者に対して、ソーシャルディスタンスを保ちながら、収穫作業などを体験してもらいました。参加者からは、「楽しかった」「今後は、子どもたちと来たい」といった声が聞かれ、イベントは成功のうちに終わりました。

今後、当課としては、営農組合とともに、今回見えてきた改良点を解決し、継続的に実施していけるよう、支援していきます。